

【重点目標1 重点取組評価シート】

基本方針	専門的な資料・情報や地域資料等を収集、蓄積し、県民・企業の調査研究に対する支援機能を充実する。				
重点目標1	資料・情報提供機能の強化による全県サービスの推進				
重点取組	多様な情報要求に対応し県民・企業の課題解決を支援する資料・情報提供の推進				
1 総合評価	R1年度	4	5:目標を上回っている 4:目標に達している 3:目標の8割以上達している 2:目標には達していないが、一定の進捗が見られる 1:目標達成に向けた進捗が見られない	※数値の達成だけでなく総合的な評価とする	
	R2年度	3			
	R3年度				
2 評価理由	県民・企業の多様な情報要求に対応し課題解決を支援する有用なレファレンスサービスを実施し、全県サービスを推進した。 6指標のうち3指標について目標値を達成したこと、目標値を達成できなかった3指標のうち2指標についての実績値は8割以上となったことから評価を「3」とした。				
3 数値目標と結果			R1年度	R2年度	R3年度
投入指標	パスファインダー等の発行数*1	目標値	20点	20点	20点
		実績値	33点	42点	
		達成率	165%	210%	
	国立国会図書館レファレンス協同データベース事例公開件数	目標値	230件	230件	230件
		実績値	200件	201件	
		達成率	87%	87%	
活動指標	レファレンス件数(事項調査)	目標値	5,300件	5,300件	5,300件
		実績値	6,595件	4,887件	
		達成率	124%	92%	
	レファレンス掲示板件数(協力量レファレンス)*2	目標値	60件	60件	60件
		実績値	52件	35件	
		達成率	87%	58%	
満足度	レファレンス満足度*3	目標値	4.4以上	4.4以上	4.4以上
		実績値	4.3	4.5	
		達成率	未達成	達成	
	協力量レファレンス満足度*4	目標値	4.8以上	4.8以上	4.8以上
		実績値	4.9	4.8	
		達成率	達成	達成	
<p>*1 パスファインダー:あるテーマについて調べる時に役立つ基本資料や調べ方を紹介する道しるべとなる資料 *2 レファレンス掲示板:県内市町村立図書館から県立図書館にレファレンス依頼をするためのインターネット上の掲示板 *3 レファレンス満足度:5段階評価(利用者アンケートより算出) *4 協力量レファレンス満足度:5段階評価(市町村立図書館へのアンケートより算出)</p>					
4 行動計画と実施状況					
	取組内容	行動計画(具体的な内容)			指標
1-1	各分野におけるレファレンスサービスの推進	担当する各分野のレファレンス事例紹介、調べ方案内の発行、調査研究に役立つリンク集等を充実するとともに、国立国会図書館レファレンス協同データベースの「調べ方マニュアル」への事例提供を継続する。レファレンスサービスの認知度の向上、職員の技術向上により、レファレンスサービスを推進する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイト「調査研究に役立つリンク集」更新(6月)、「埼玉の図書館類縁機関案内」更新(12月) 国立国会図書館レファレンス協同データベース「調べ方マニュアル」への事例提供(5件) 			
1-2	県内行政機関や外部機関・団体等との連携事業の拡充	県の各課所館・団体等と連携し、県民向けに周知を図る事項について、課所館等が作製する広報物と図書館資料とを組み合わせた連携展示を協力して実施する。合わせて資料リスト等を作成する。			投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 教育センター、下水道公社ほか、川越市立中央図書館等と連携、自然の博物館との連携した資料展示を実施 			

1-3	一人一人のチャレンジ支援につながるビジネス関連情報提供の推進	ビジネス関連の講座・講演会・資料展等を開催するとともに、『仕事に役立つリサーチガイド@埼玉』の改訂に取り組む。また、関係機関と連携し、一人一人の状況に応じた資料・情報提供を行う。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス支援セミナー(オンライン開催)(1-2月 3回、53人 満足度=4.4) ・女性創業相談会(原則毎月第1木曜実施 計6回 延べ16人 臨時休館中は中止) ・ミニ展示5回開催(「コロナに負けないビジネス」「活用しよう! 支援制度」等) 	
1-4	県民に向けた海外資料サービスの広報及び関連事業の開催	国際理解や多文化共生への理解を深めるため、関連事業を開催するとともに、国際課や国際交流協会等関連機関と連携し、利用案内、ウェブサイト、資料展示等により海外資料サービスを広報する。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・海外普及事業「Workshop on Disaster Prevention in Japan 日本の災害を知ろう」(11月29日 11人 満足度=4.9) 	
1-5	県民のヘルスリテラシー向上に役立つ健康・医療情報提供の推進	健康・医療情報関連の講座・講演会、資料展・パネル展示等を開催するとともに、『健康・医療情報リサーチガイド@埼玉』の改訂・配布を行う。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニミニ展示2回・「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)情報に関するリンク集」作成 ・「情報の探しかた講座」で健康・医療情報の調べ方の2講座を実施(11月21日、13人) ・『健康・医療情報リサーチガイド@埼玉 改訂2版』発行(1月)・配布(3月) 	
1-6	レファレンス事例データの一般公開の推進	レファレンス事例データを適正に入力・管理し、国立国会図書館「レファレンス協同データベース」へ計画的な提供を行う。	投入指標
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館受付事例について、2館で分担して新規入力し、担当職員による校正を経て国立国会図書館レファレンス協同データベースに一般公開(累計=8,922件) 	
1-7	県内市町村立図書館等を対象とした協力レファレンスサービスの利用促進	県内市町村立図書館、図書館類縁機関、大学に対して、レファレンスサービスを支援する「図書館協力レファレンス掲示板」などの活用を促すとともに、受付・回答を迅速に処理する。	投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会や会議の場でレファレンス掲示板などを通じて県立図書館に協力レファレンスを依頼することにより、回答の幅が広がることを広報した。 	
1-8	非来館型レファレンスサービスの推進	ウェブサイトからのレファレンス受付等、非来館型レファレンスを推進するとともに、2館が一体となり迅速に調査・回答を処理する。	活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイト受付フォームからのレファレンス申込に対し、迅速に受付(144件)・回答 	
1-9	行政支援サービスの環境整備と推進	熊谷図書館の行政支援サービス環境を整備し、浦和分室を通じたサービスを推進する。	その他
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「県職員向けデータベース講座」でパンフレットを配布・広報 ・県職員向けウェブサイト行政支援調査事例を掲載 	
5 取組による成果		<ul style="list-style-type: none"> (1) パスファインダーを多く発行し、自分で調べるためのツールの充実を図った。 (2) 国立国会図書館レファレンス協同データベース事例のアクセス件数は13年連続全国一位(2,931,710件)となった。 (3) コロナ禍の休館等でレファレンス受付件数は減少したが、電話やウェブサイトによる非来館のレファレンス受付件数は増加した。また、回答したレファレンスの満足度は高かった(個人=4.5、図書館=4.8)。 	
6 課題及び次年度取組		<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 国立国会図書館レファレンス協同データベース事例公開件数については、専門的なレファレンスの回答レベルを維持していくことが課題で、質の高い内容を維持するために時間をかけて校正を行っている。公開件数は目標値に至らなかった。 (2) レファレンスは、コロナ禍から県内図書館の休館が長期化し、受付機会が減少した。 <p>[次年度取組予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) レファレンス広報(県内公立図書館職員向け・一般利用者向け・高校図書館職員向け)の継続 (2) 日常のカウンター内でのレファレンスサポートと職員のスキルアップのための「レファレンス研修」の実施 (3) 「仕事に役立つリサーチガイド@埼玉」の改訂に向けた内容の検討 (4) 埼玉県よろず支援拠点と連携したセミナー・講演会の継続 (5) 県職員向けウェブサイト掲載の行政支援調査事例の充実 (6) 新型コロナウイルスの影響に対応した事業の展開計画 	